

1. 海上保安官 海賊対処のため ソマリア沖へ!



左：五島浩司 海自第八護衛隊司令
右：竹内行広 海保ソマリア周辺海域派遣捜査隊長

3月14日、ソマリア沖の海賊対策のため、海上保安官8名が海上警備行動により海上自衛隊の護衛艦「さざなみ」及び「さみだれ」に同乗し、呉を出港しました。同乗した海上保安官は、海賊の逮捕、取調べ等の司法警察業務を行うこととしています。出港式では、麻生総理のほか、浜田防衛大臣、春田国土交通事務次官、岩崎海上保安庁長官等が出席しました。

2. 就役! ボンバル300



2月10日、海上犯罪の取締りや海難救助等、多種多様な業務に的確に対応するため、航続性能、搜索監視能力等に優れた「ボンバル300」1号機及び2号機が那覇航空基地に就役しました。続けて、3号機が羽田航空基地に就役しました。那覇航空基地では、2月24日夜に初めての救難出動があり、最新鋭の赤外線搜索監視装置などを駆使して搜索した結果、遭難信号を発信していた漁船を発見特定し、救助活動に貢献しました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
03-3591-6361 (代表)

(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

